

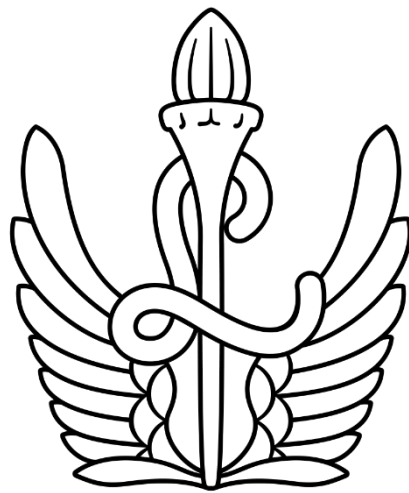
2027年（令和9年）度

入学者選抜要項

言語文化学部

国際社会学部

国際日本学部



東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies

目 次

○東京外国語大学の理念と方針.....	1
I. 試験の実施方法	2
II. 一般選抜	2
【1】出願資格	2
【2】障害等のある入学志願者の事前相談.....	3
【3】学生募集要項等の請求・照会先.....	4
【4】募集人員	5
【5】専攻言語	7
【6】大学入学共通テストの受験を要する教科・科目.....	9
【7】選抜期日等	10
【8】前期日程入学者選抜方法等.....	11
【9】後期日程入学者選抜方法等.....	12
III. 学校推薦型選抜	13
IV. 帰国生等特別推薦選抜.....	18
V. 言語文化学部・国際社会学部 私費外国人留学生選抜.....	22
VI. 国際日本学部 日本留学試験利用選抜.....	26
VII. 国際日本学部 海外高校推薦選抜.....	28

○東京外国語大学の理念と方針

1. 東京外国語大学の理念

本学の理念は、世界の言語と、それを基底とする文化・社会に関する教育を実施し、豊かな人間性、深い思考力、鋭利な感性を養い、高度なコミュニケーション能力、豊かな教養、広い視野を身に付け、さまざまな文化的背景をもつ世界諸地域の人々と協働して地球的課題に取り組むことができる人材を養成することです。

2. 東京外国語大学の学士課程において、学生は次のような力を身に付けます。

【ディプロマポリシー】

東京外国語大学は、教育目標に定める人材を養成するため、次の「5つの力」の涵養を行い、これを身に付けた者に「学士（言語・地域文化）」の学位を授与します。

- ① 高度な言語運用能力
- ② 日本や世界諸地域についての知識・教養
- ③ 現代社会を生きる力
- ④ 専門的な知識
- ⑤ 主体的に考え、行動し、発信する力

3. 東京外国語大学は、上記の力を身に付けることを望む、次のような学生を求めます。

【アドミッションポリシー】

東京外国語大学では、世界諸地域の言語・文化・社会の仕組みを解明する諸学問分野や、国際的な諸問題を超域的な視点から扱う諸学問分野の基礎を学ぶことができます。

国内外の高等学校等において、総合的で確かな基礎学力、ものごとに対する思考力・判断力・表現力、そして主体的に学ぶ態度を身に付けたいうえで、本学の理念に共感し、さまざまな文化的背景をもつ人々と共に働き、地球的な課題に取り組む意欲にあふれる人を受け入れます。

【言語文化学部】

世界のさまざまな地域の言語と文化に精通し、国内外において異なる言語間・文化間の架け橋となって活躍する国際教養人を目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| ○出版、広告、観光などに関わる職業 | ○文化事業の企画に関わる職業 |
| ○新聞社、放送局などのマスメディア | ○国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど） |
| ○通訳・翻訳に関わる職業 | ○英語など外国語教育に関わる職業 |
| ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 | |

【国際社会学部】

世界の国や地域の歴史・政治・経済・社会に関心をもち、多様なビジネスの分野はもちろん、国際社会と協働して現代世界が抱える紛争・災害、環境問題、経済格差・貧困等の問題解決に携わることによって、人間社会に貢献する国際職業人を目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| ○外交官などの国家公務員及び地方公務員 | ○国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど） |
| ○国際機関や国際的に活動する NGO | ○新聞社、放送局などのマスメディア |
| ○社会科・地理歴史科の中学・高校教員 | ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 |

【国際日本学部】

国際的視座から日本を学び、日本発のグローバルリーダーとなることを目指す人、また、多言語・多文化化の進む日本や世界で共生社会実現に貢献することを目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | | |
|----------------------------|-------------------|---------------|
| ○グローバル企業、海外展開をする日本企業 | ○地方自治体、中央官庁、国際機関等 | |
| ○通訳や翻訳の仕事 | ○観光や運輸関係の企業 | ○出版・メディア関係の企業 |
| ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 | ○国語科の中学・高校教員 | |
| ○日本語教育・日本文化に関わる国内外の教育・研究機関 | | |

I. 試験の実施方法

2027年（令和9年）度入学者選抜試験は、言語文化学部については「前期日程」、「学校推薦型選抜」、「帰国生等特別推薦選抜」及び「私費外国人留学生選抜」を実施し、国際社会学部については「前期日程」と「後期日程」の分離分割方式、「学校推薦型選抜」、「帰国生等特別推薦選抜」及び「私費外国人留学生選抜」を実施し、国際日本学部については「前期日程」、「学校推薦型選抜」、「帰国生等特別推薦選抜」及び留学生を対象とする選抜（「日本留学試験利用選抜」及び「海外高校推薦選抜」）により実施する。

〔留意事項〕

- (1) 本学の言語文化学部、国際社会学部又は国際日本学部のうち複数の「前期日程」に出願することはできない。
- (2) 本学の「前期日程」に出願した者は、他の「前期日程」に属する国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う大学・学部を除く。以下同じ）に出願することはできない。また、本学の「後期日程」に出願した者は、他の「後期日程」に属する国公立大学・学部に出願することはできない。
- (3) 本学の「前期日程」に合格し、所定の入学手続を行った者は、本学又は他の国公立大学・学部が実施する「後期日程」の教科・科目に係る個別テスト等を受験しても、その合格者にはならない。
- (4) 本学の「学校推薦型選抜」、「帰国生等特別推薦選抜」、「私費外国人留学生選抜」又は「日本留学試験利用選抜」のうち一試験種と、「前期日程」及び「後期日程」に併願することは差し支えないが、「学校推薦型選抜」、「帰国生等特別推薦選抜」、「私費外国人留学生選抜」及び「日本留学試験利用選抜」のうち複数の試験種に出願することはできない。
- (5) 本学の「学校推薦型選抜」又は「帰国生等特別推薦選抜」に合格した者は、本学の定める手続により入学辞退を許可された場合を除いて、本学又は他の国公立大学・学部が実施する「前期日程」及び「後期日程」の教科・科目に係る個別テスト等を受験しても、その合格者にはならない。
- (6) 他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜又は総合型選抜の合格者は、当該学校推薦型選抜又は総合型選抜を実施する大学の定める手続により入学辞退を許可された場合を除いて、本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等を受験しても入学許可は得られない。

II. 一般選抜

【1】出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和9年度大学入学共通テストの教科・科目のうち、本学が指定したものを受験した者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2027年（令和9年）3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）及び2027年（令和9年）3月31日までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる、次の①から⑥までのいずれかに該当する者及び2027年（令和9年）3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2027年（令和9年）3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2027年（令和9年）3月31日までに修了見込みの者（昭和53年文部省告示第142号）
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2027年（令和9年）3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び2027年（令和9年）3月31日までに合格見込みの者で、2027年（令和9年）3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年（令和9年）3月31日までに18歳に達するもの

(注1) 出願資格(3)の⑥により出願する場合は、事前に入学資格審査が必要となるので、次の要領にて申請すること。

1. 申請期限

- ①2026年(令和8年)7月31日(金)まで(本学必着) ※9月末までに結果を要する者
- ②2026年(令和8年)12月11日(金)まで(本学必着)

2. 申請方法

(簡易)書留郵便(「入学資格認定申請書類在中」と朱書きすること)

3. 提出書類

- ①入学資格認定申請書(本学所定様式。本学ホームページからダウンロードすること)
(<https://www.tufs.ac.jp/common/is/nyushi/pdf/sinseisyo.pdf>)
- ②高等学校課程に相当する課程等における学習歴を証明する書類(成績証明書でも可)、あるいは、社会での実務経験や取得した資格を有する者は、その実務経験や取得した資格を証明する書類(学習歴や実務歴が複数にわたる場合は、そのすべてについて提出すること)
- ③レターパックライト(本学から入学資格審査結果の通知を送付する際に使用する。以下の注を参照のこと)
(注1)レターパックライトは、郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所で購入可能。
(注2)申請者の宛先(日本国内に限る)を「お届け先」欄に記入し、半分に折って同封すること。なお、「ご依頼主様保管用シール」ははがさないこと。

4. 審査結果

入学資格審査結果については、提出されたレターパックライトにて通知する。

【2】障害等のある入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上合理的な配慮を必要とする者は、事前に本学入試課に相談すること。

なお、相談の受付期日後に受験上及び修学上の特別な配慮が必要となった者は、電話等で相談すること。

(1) 受付期間 2026年(令和8年)12月11日(金)まで

(2) 相談方法

以下の所定様式に必要事項を記入し、同封書類⑧⑨とともに、(簡易)書留郵便により郵送又は直接窓口へ持参すること。本学が必要と判断する場合は、本学において志願者又は関係者等と面談を行う。

[所定様式] <https://www.tufs.ac.jp/common/is/nyushi/pdf/hairyo.docx>

[記載事項] ①志願者氏名、年齢、性別 ②連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)
③出身学校、卒業(見込み)年月 ④試験区分、志願学部、募集単位、受験教科・科目
⑤障害の種類、程度 ⑥受験上希望する配慮事項 ⑦修学上希望する配慮事項

[同封書類] ⑧添付書類

- ・医師の診断書(原本)(必須)
- ・令和9年度大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書(写)(該当者のみ)
- ・障害者手帳(写)(該当者のみ)等

⑨レターパックライト(本学から審査結果の通知を送付する際に使用する。以下の注を参照のこと)

(注1)レターパックライトは、郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所で購入可能。

(注2)申請者の宛先(日本国内に限る)を「お届け先」欄に記入し、半分に折って同封すること。なお、「ご依頼主様保管用シール」ははがさないこと。

【3】学生募集要項等の請求・照会先

東京外国語大学一般選抜（前期日程・後期日程）の募集要項については、2026年（令和8年）10月下旬頃に、電子媒体のものを本学ホームページに掲載するので、試験の詳細はその募集要項より確認すること。なお、一般選抜（前期日程・後期日程）以外の各種入学者選抜試験の募集要項は、2026年（令和8年）7月以降順次本学ホームページ上に掲載する。各選抜試験ごとの募集要項より、それぞれの試験の詳細について確認すること。

募集要項等は、以下のいずれかの方法により請求すること。

1. 本学ホームページからダウンロードする場合

以下よりダウンロードすること。

* 学部入学案内パンフレット

(https://www.tufs.ac.jp/pr-ebooks/gakubu_annai_2027/)

* 募集要項・出願書類 (<https://www.tufs.ac.jp/admission/exam/guideline/>)

2. テレメールで請求する場合

以下のとおり請求すること。なお、テレメールでは、「学部入学案内パンフレット」及び「入学者選抜要項」に限り、請求することができる。実際の出願にあたっては、本学ホームページ上に掲載するそれぞれの選抜試験の募集要項にて詳細を確認したうえで行うこと。

① テレメールサイトにアクセスする。

* テレメール資料請求受付専用サイト (<https://telemail.jp/>)

* QRコード（資料請求番号の入力不要）



② 本学の資料請求番号6桁を入力する。

資料名	資料請求番号
学部入学案内パンフレット（入試データブック同封）	562522
入学者選抜要項	582522
入学者選抜要項・学部入学案内パンフレット（入試データブック同封）	562502

③ ガイダンスに従って届け先等を登録する。

* 資料は発送日から3～5日で届けられる。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては1週間程度要する場合もある。1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへ問い合わせること。なお、発送開始日以前の請求分は、発送開始日に一斉に発送される。

* 料金の支払いは、資料到着後の後払いとなる。同封の料金支払い用紙を確認のうえ、資料到着後2週間以内に表示料金を支払うこと。なお、支払いに際しては、別途手数料が必要となる。

【テレメールサービスについての問い合わせ先】

テレメールカスタマーセンター ☎ 050-8601-0102 (9:30～18:00)

【4】募集人員

1. 言語文化学部

学科	入学定員	募集単位 (専攻言語)	募集人員				入学後の 専攻地域				
			前期日程	学校 推薦型	帰国生等 特別推薦	私費外国人 留学生					
言語文化学科	335人	英語	36人	5人	若干名	若干名	北西ヨーロッパ ・北アメリカ				
		ドイツ語	22人	3人			中央ヨーロッパ				
		ポーランド語 チェコ語	12人	2人				西南ヨーロッパ			
		フランス語	22人	3人			イベリア・ ラテンアメリカ				
		イタリア語	12人	2人				ロシア			
		スペイン語	25人	3人			中央アジア				
		ポルトガル語	11人	2人				東アジア			
		ロシア語	21人	3人			東南アジア				
		ロシア語及びウズベク語 モンゴル語	9人	2人				南アジア			
		中国語	23人	3人			中東				
		朝鮮語	12人	2人							
		インドネシア語 マレーシア語 フィリピン語	19人	3人							
		タイ語 ラオス語 ベトナム語 カンボジア語 ビルマ語	23人	5人							
		ウルドゥー語 ヒンディー語 ベンガル語	19人	3人							
		アラビア語 ペルシア語 トルコ語	24人	4人							
		合計	335人				290人	45人	若干名	若干名	

(注1) 前期日程の募集人員には、各専攻言語とも帰国生等特別推薦選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員若干名を含む。

(注2) 学校推薦型選抜の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は、前期日程の募集人員に加える。

2. 国際社会学部

学科	入学定員	募集単位 (専攻地域)	募集人員					入学後の 専攻言語
			前期日程	後期日程	学校 推薦型	帰国生等 特別推薦	私費外国人 留学生	
国際社会学部	335人	北西ヨーロッパ ／北アメリカ	20人	5人	2人	若干名	若干名	英語
		中央ヨーロッパ	28人	6人	2人			ドイツ語
								ポーランド語
		西南ヨーロッパ	27人	8人	2人			チェコ語
								フランス語
		イベリア／ ラテンアメリカ	29人	7人	3人			イタリア語
								スペイン語
		ロシア	17人	3人	2人			ポルトガル語
		ロシア語						
		中央アジア	13人	ロシア語及び ウズベク語				
		東アジア	30人	7人	3人			モンゴル語
								中国語
		東南アジア第1	15人	4人	2人			朝鮮語
								インドネシア語
マレーシア語								
東南アジア第2	22人	4人	2人	フィリピン語				
				タイ語				
				ラオス語				
				ベトナム語				
				カンボジア語				
南アジア	15人	4人	2人	ビルマ語				
				ウルドゥー語				
				ヒンディー語				
中東	19人	5人	2人	ベンガル語				
				アラビア語				
アフリカ	10人	3人	2人	ペルシア語				
				トルコ語				
オセアニア	9人	—	1人	英語				
合計	335人		254人	56人	25人	若干名	若干名	英語

(注1) 前期日程の募集人員には、各専攻地域とも帰国生等特別推薦選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員若干名を含む。

(注2) 学校推薦型選抜の合格者(入学手続き者)が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は、前期日程の募集人員に加える。

(注3) 「募集単位(専攻地域)」が「北西ヨーロッパ／北アメリカ」及び「イベリア／ラテンアメリカ」の合格者は、入学手続き時にいずれか1つの専攻地域を選択すること。詳細は、入学手続き書類にて確認すること。

3. 国際日本学部

募集単位 (学科)	募集人員				
	前期日程	学校推薦型	帰国生等 特別推薦	日本留学 試験利用	海外高校推薦
国際日本学科	35人	10人	若干名	20人	10人

(注1) 前期日程の募集人員には、帰国生等特別推薦選抜の募集人員若干名を含む。

(注2) 学校推薦型選抜、日本留学試験利用選抜及び海外高校推薦選抜の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は、前期日程の募集人員に加える。

【5】専攻言語

1. 言語文化学部

言語文化学部の前期日程においては、複数の募集単位(専攻言語)を一括して募集する場合がある。この場合志願者は、出願時に、一括されている専攻言語のすべてに関し希望順位を付すこと。前期日程合格者の配置は、入学者選抜結果の上位者から希望順に決定する。

なお、専攻言語ごとの配置人数は、概ね以下を目安とする。

〔前期日程の配置人数の目安〕

募集単位	募集人員	配置される専攻言語及び人数	
英語	36人	英語	36人
ドイツ語	22人	ドイツ語	22人
ポーランド語	12人	ポーランド語	6人
チェコ語		チェコ語	6人
フランス語	22人	フランス語	22人
イタリア語	12人	イタリア語	12人
スペイン語	25人	スペイン語	25人
ポルトガル語	11人	ポルトガル語	11人
ロシア語	21人	ロシア語	21人
ロシア語及びウズベク語	9人	ロシア語及びウズベク語	4人
モンゴル語		モンゴル語	5人
中国語	23人	中国語	23人
朝鮮語	12人	朝鮮語	12人
インドネシア語	19人	インドネシア語	9人
マレーシア語		マレーシア語	4人
フィリピン語		フィリピン語	6人
タイ語	23人	タイ語	6人
ラオス語		ラオス語	4人
ベトナム語		ベトナム語	5人
カンボジア語		カンボジア語	4人
ビルマ語		ビルマ語	4人
ウルドゥー語	19人	ウルドゥー語	6人
ヒンディー語		ヒンディー語	9人
ベンガル語		ベンガル語	4人
アラビア語	24人	アラビア語	12人
ペルシア語		ペルシア語	6人
トルコ語		トルコ語	6人

配属言語がロシア語及びウズベク語となったものは、入学後、1年次からのロシア語に加え、2年次以降ウズベク語も学ぶ。

2. 国際社会学部

国際社会学部においては、募集単位（専攻地域）ごとに一括の募集を行うが、入学後、学生は【4】2.に示されている専攻言語のいずれかに配置となる。

前期日程において、複数の専攻言語がある専攻地域を志願する者は、出願時に専攻言語のすべてについて希望順位を付すこと。前期日程合格者の配置は、入学者選抜結果の上位者から希望順に決定する。

なお、前期日程合格者の専攻言語ごとの配置人数は、概ね以下を目安とする。

〔前期日程の配置人数の目安〕

募集単位	募集人員	配置される専攻言語及び人数	
北西ヨーロッパ／北アメリカ	20人	英語	20人
中央ヨーロッパ	28人	ドイツ語	18人
		ポーランド語	5人
		チェコ語	5人
西南ヨーロッパ	27人	フランス語	18人
		イタリア語	9人
イベリア／ラテンアメリカ	29人	スペイン語	20人
		ポルトガル語	9人
ロシア	17人	ロシア語	17人
中央アジア	13人	ロシア語及びウズベク語	6人
		モンゴル語	7人
東アジア	30人	中国語	19人
		朝鮮語	11人
東南アジア第1	15人	インドネシア語	6人
		マレーシア語	4人
		フィリピン語	5人
東南アジア第2	22人	タイ語	5人
		ラオス語	4人
		ベトナム語	5人
		カンボジア語	4人
		ビルマ語	4人
南アジア	15人	ウルドゥー語	5人
		ヒンディー語	6人
		ベンガル語	4人
中東	19人	アラビア語	9人
		ペルシア語	5人
		トルコ語	5人
アフリカ	10人	英語	10人
オセアニア	9人	英語	9人

後期日程において、複数の専攻言語がある専攻地域を志願する者は、出願時に希望する専攻言語1つを選択すること。後期日程合格者の専攻言語は、志願者の希望どおりに決定する。

配属言語がロシア語及びウズベク語となったものは、入学後、1年次からのロシア語に加え、2年次以降ウズベク語も学ぶ。

アフリカ地域においては、入学後、1年次からの英語のほか、フランス語、ポルトガル語、アラビア語のうちの1つを学ぶ。その他、スワヒリ語の履修も推奨されている。

また、オセアニア地域においては、入学後、英語のほか、フランス語、中国語、インドネシア語、マレーシア語、フィリピン語のうちの1つを選んで学ぶ。その他、オセアニア諸語の履修も推奨されている。

3. 国際日本学部

国際日本学部においては、英語母語話者を除くすべての学生は英語及び日本語を中心に、また、英語母語話者は日本語を中心に学習する。詳細は入学後に説明する。

【6】大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

1. 前期日程（6教科7科目の受験を要する）

【実施学部】言語文化学部、国際社会学部、国際日本学部

教科	科目	成績利用
国語	『国語』	必須
数学	① 『数学Ⅰ』、 『数学Ⅰ，数学A』	1科目選択
	② 『数学Ⅱ，数学B，数学C』	必須
地理歴史	『地理総合，地理探究』、 『歴史総合，日本史探究』、 『歴史総合，世界史探究』	1科目選択（注1）
公民	『公共，倫理』、 『公共，政治・経済』	公民又は理科から1科目選択 （注1，2，3，4）
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、 『中国語』、『韓国語』	1科目選択（注5）
情報	『情報Ⅰ』	必須

（注1）地理歴史及び公民から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を必ず利用する。

（注2）地理歴史及び公民の2科目受験にあたっては科目の受験順により成績の利用が制限されることがある。次表（※「地理歴史及び公民、理科」の受験パターンと成績利用）を参照し、十分留意のうえ受験すること。

（注3）地理歴史及び公民において、第1解答科目として本学が指定していない科目『地理総合／歴史総合／公共』を受験した場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定する科目を受験した場合でも無資格になるので十分留意のうえ受験すること。

（注4）理科から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用する。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答すること。

（注5）『英語』を選択した場合は、【リスニング】の成績も利用する。

（注6）大学入学共通テストの科目の選択方法は、大学入試センターによる試験実施方法の発表内容によって変更になる場合がある。変更する場合は、本学ホームページ等で公表するので注意すること。

※「地理歴史及び公民、理科」の受験パターンと成績利用

地理歴史及び公民の受験パターン		理科	公民又は理科において利用する成績	受験可否
第1解答科目	第2解答科目	第1解答科目		
地理歴史	公民	理科	公民又は理科のうち高得点の成績	可
地理歴史	公民	—	公民の成績	可
地理歴史	地理歴史	理科	理科の成績	可
地理歴史	地理歴史	—	科目不足により無資格となる。	否
地理歴史	—	理科	理科の成績 ※上記（注3）も参照すること	可
公民	地理歴史	理科	公民の成績（理科の成績は利用しない）	可
公民	地理歴史	—	公民の成績	可
公民	（公民）	理科	地理歴史未受験のため、科目不足により無資格となる。（※大学入学共通テストにおいて、公民2科目は選択不可）	否
公民	（公民）	—		否
公民	—	理科		否

※受験可否欄が「否」の受験パターンを選んだ場合、本学の個別テストを受験することができない。

2. 後期日程（3教科3科目の受験を要する）

【実施学部】国際社会学部

教科	科目	成績利用
国語	『国語』	必須
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、 『中国語』、『韓国語』	1科目選択（注1）
数学	① 『数学Ⅰ』、 『数学Ⅰ，数学A』	いずれかの教科から1科目選択（注2，3）
	② 『数学Ⅱ，数学B，数学C』	
地理歴史	『地理総合，地理探究』、 『歴史総合，日本史探究』、 『歴史総合，世界史探究』	
公民	『公共，倫理』、 『公共，政治・経済』	
情報	『情報Ⅰ』	

（注1）『英語』を選択した場合は、【リスニング】の成績も利用する。

（注2）地理歴史および公民の中から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用する。

（注3）数学、地理歴史、公民および情報の中から複数の科目を受験した場合は、そのうちのいずれか高得点の成績を利用する。

（注4）大学入学共通テストの科目の選択方法は、大学入試センターによる試験実施方法の発表内容によって変更になる場合がある。変更する場合は、本学ホームページ等で公表するので注意すること。

【7】選抜期日等

試験区分	出願期間	選抜期日	合格者発表	入学手続
前期日程	2027年(令和9年) 1月25日(月)～ 2月3日(水)	2027年(令和9年) 2月25日(木)	2027年(令和9年) 3月6日(土)	2027年(令和9年) 3月15日(月)まで
後期日程		2027年(令和9年) 3月12日(金)	2027年(令和9年) 3月20日(土)	2027年(令和9年) 3月27日(土)まで

（注1）前期日程については言語文化学部、国際社会学部及び国際日本学部のすべてにおいて実施するが、後期日程を実施するのは国際社会学部のみである。

（注2）出願は、Web出願専用サイトでの登録を済ませたのち、必要書類を郵送すること（持参不可）。なお、郵送は全て**簡易書留・速達郵便**によるものとし、上記期間内に**必着**とする。ただし、期間後に本学に到着した場合でも、2027年(令和9年)2月1日(月)以前の国内発信局消印のある簡易書留・速達郵便であれば受け付ける。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送すること。

（注3）合格者発表は、上記期日に本学合否照会サイトで発表する。

（注4）入学手続の詳細については、合格者に対してweb上で別途通知する。なお、合格通知書及び入学手続書類の郵送は行わない。

【8】前期日程入学者選抜方法等（言語文化学部、国際社会学部、国際日本学部）

1. 出題方針

外国語は読解力、聴解力、作文力、発話力を中心に全般的な運用能力をみる。
 地理歴史は歴史に関する基礎的な知識を確認する。あわせて、歴史的な視点から現代の国際社会を理解する力を確認する。

2. 合否判定基準

令和9年度大学入学共通テストの成績、本学が実施する教科・科目に係る個別テストの成績及び調査書の内容により総合して行う。

なお、Web出願専用サイトで入力する主体性評価の内容は、合否判定ライン上に位置する志願者の選抜において使用する。

3. 本学が実施する教科・科目に係る個別テスト

- (1) 実施期日 2027年（令和9年）2月25日（木）
- (2) 試験場 東京外国語大学（東京都府中市朝日町3-11-1）
- (3) 教科・科目及び試験時間

教科	科目	試験時間（予定）
外国語	「英語スピーキング試験」 * 本学とブリティッシュ・カウンシルが共同開発したBCT-Sを利用する。 * 本学が用意するタブレット端末を用いて十数分で解答する。 解答開始前に試験の説明や端末の動作確認を行うため、試験の開始から終了まで70分程度を要する。	10:00～11:10 (70分)
外国語	「英語」 * 試験はリスニングを含む。	12:30～14:30 (120分)
地理歴史	「歴史総合、世界史探究／日本史探究」 * 「歴史総合」を共通問題、「世界史探究」および「日本史探究」を選択問題として実施する。 * Web出願登録後に科目の変更をすることはできない。	15:30～17:00 (90分)

（参考）BCT-S 大学入試用スピーキング・テスト (<https://www.britishcouncil.jp/exam/bct-s>)

(4) 大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テストの配点

試験区分	教科								合計
	国語	外国語	数学①	数学②	地理歴史	公民	理科	情報	
大学入学共通テスト (注1)	100点	150点 (注2)	50点	50点	50点	50点（いずれかの教科から1科目）		50点	500点
個別テスト	—	300点 (注3)	—	—	150点	—	—	—	450点
計	100点	450点	50点	50点	200点	50点		50点	950点

（注1）大学入学共通テストの各教科・科目の配点を、上表のとおり換算する。

（注2）大学入学共通テストの外国語『英語』の場合、【リーディング】と【リスニング】の合計点を、1：1の比率で上表のとおり換算する。

（注3）教科・科目に係る個別テストの外国語の配点は、「英語」（リスニング含む）と「英語スピーキング試験」を合計し、300点満点とする。

【9】後期日程入学者選抜方法等（国際社会学部）

1. 出題方針

文化・社会に関する英語の文章を示して、読解力、論理的思考力、日本語文章表現力等をみる。

2. 合否判定基準

令和9年度大学入学共通テストの成績、本学が実施する試験（小論文）の成績及び調査書の内容により総合して行う。

なお、Web 出願専用サイトで入力する主体性評価の内容は、合否判定ライン上に位置する志願者の選抜において使用する。

3. 本学が実施する試験

- (1) 実施期日 2027年（令和9年）3月12日（金）
- (2) 試験場 東京外国語大学（東京都府中市朝日町3-11-1）
- (3) 試験内容及び試験時間

試験内容		試験時間
小論文	英語の課題文を読み、日本語で解答する形式で行う。	10:00～12:00 (120分)

(4) 大学入学共通テスト及び本学が実施する試験の配点

試験 区分	教科								合計
	国語	外国語	数学①	数学②	地理歴史	公民	情報	小論文	
大学入学 共通テスト	200点	200点	100点（いずれかの教科から1教科）					—	500点
本学が実施 する試験	—	—	—					200点	200点
計	200点	200点	100点					200点	700点

※大学入学共通テストの外国語を『英語』で受験する者は、【リスニング】を含む。

※大学入学共通テストの外国語『英語』の配点は、【リーディング】100点、【リスニング】100点とする。

Ⅲ. 学校推薦型選抜

【1】趣旨

「学校推薦型選抜」では、出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等を免除して、学校長の推薦書、大学入学志望理由書、英語の資格・検定試験のスコア、活動報告書、調査書等の提出書類ならびに小論文及び面接を総合評価し、合格者を決定する。

これは、入学者選抜の多様化の一環として実施するものであり、本学の特色・専門分野に興味を持ち、高等教育を受けるための基礎学力を確実に身につけた志願者を、学校長からの推薦を受け、選抜するものである。

なお、本学を含め、国公立大学・学部の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含む）へ出願できるのは、1つの大学・学部のみである。

【2】募集人員

1. 言語文化学部 言語文化学科

募集単位（専攻言語）	募集人員	入学後の専攻地域	
英語	5人	北西ヨーロッパ・北アメリカ	
ドイツ語	3人	中央ヨーロッパ	
ポーランド語 チェコ語	2人		
フランス語	3人		
イタリア語	2人	西南ヨーロッパ	
スペイン語	3人	イベリア・ラテンアメリカ	
ポルトガル語	2人		
ロシア語	3人	ロシア	
ロシア語及びウズベク語 モンゴル語	2人	中央アジア	
中国語	3人	東アジア	
朝鮮語	2人		
インドネシア語 マレーシア語 フィリピン語	3人	東南アジア	
タイ語 ラオス語 ベトナム語 カンボジア語 ビルマ語	5人		
ウルドゥー語 ヒンディー語 ベンガル語	3人		南アジア
アラビア語 ペルシア語 トルコ語	4人		中東
合計	45人		

（注1）「募集単位（専攻言語）」の中に複数の専攻言語が入っている場合は、各専攻言語の募集人員は1人。ただし、アラビア語は2人。

（注2）合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合、その欠員分は、言語文化学部の前期日程の募集人員に加える。

2. 国際社会学部 国際社会学科

募集単位（専攻地域）	募集人員	入学後の専攻言語
北西ヨーロッパ／北アメリカ	2人	英語
中央ヨーロッパ	2人	ドイツ語
		ポーランド語
		チェコ語
西南ヨーロッパ	2人	フランス語
		イタリア語
イベリア／ラテンアメリカ	3人	スペイン語
		ポルトガル語
ロシア	2人	ロシア語
中央アジア		ロシア語及びウズベク語
		モンゴル語
東アジア	3人	中国語
		朝鮮語
東南アジア第1	2人	インドネシア語
		マレーシア語
		フィリピン語
東南アジア第2	2人	タイ語
		ラオス語
		ベトナム語
		カンボジア語
		ビルマ語
南アジア	2人	ウルドゥー語
		ヒンディー語
		ベンガル語
中東	2人	アラビア語
		ペルシア語
		トルコ語
アフリカ	2人	英語
オセアニア	1人	英語
合計	25人	

(注1) 「入学後の専攻言語」が複数ある「募集単位（専攻地域）」を希望する志願者は、出願時に希望する「入学後の専攻言語」を1つ選択すること。

(注2) 合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合、その欠員分は、国際社会学部の前期日程の募集人員に加える。

(注3) 「募集単位（専攻地域）」が「北西ヨーロッパ／北アメリカ」及び「イベリア／ラテンアメリカ」の合格者は、入学手続時にいずれか1つの専攻地域を選択すること。詳細は、入学手続書類にて確認すること。

3. 国際日本学部 国際日本学科

募集単位（学科）	募集人員
国際日本学科	10人

(注1) 合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合、その欠員分は、国際日本学部の前期日程の募集人員に加える。

【3】推薦人数

学校長が推薦する人数は、言語文化学部は1校あたり最大2名まで、国際社会学部は1校あたり最大2名まで、国際日本学部は1校あたり最大1名までとする。

(注1) 同一の志願者を複数の学部推薦することはできない。

(注2) 志願者は、他大学の学校推薦型選抜等と併願することはできない。

(注3) 各募集単位への推薦人数や現役/既卒者の別の制限は設けない。

【4】出願資格等

日本の学習指導要領に基づく教育を行っている高等学校又は中等教育学校等を2025年(令和7年)4月1日から2026年(令和8年)3月31日までに卒業した者、または2026年(令和8年)4月1日から2027年(令和9年)3月31日までに卒業した者及び卒業見込みの者で、かつ、志望する学部のすべての推薦要件を満たすものとする。なお、出願時に本学に在籍している者は本選抜に出願できない。

1. 推薦要件

学部	推薦要件
言語文化学部	<ol style="list-style-type: none">1. 調査書の学習成績概評A段階に属する者2. 英語4技能の資格・検定試験である、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&Wのいずれかにおいて、別表「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」で、B2以上を取得している者3. 世界のさまざまな地域の言語と文化を積極的に学ぶ意欲を持っている者4. 外国語の習得に意欲を持ち、外国語科目において優れた成績を残している者5. 出身学校長が責任を持って推薦できる者6. 出願した場合には、病気や事故などのやむを得ない事由を除き、受験を辞退しないことを確約できる者 *他大学への合格又は入学決定を理由とする受験辞退は、「やむを得ない事由」には該当しない。7. 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
国際社会学部	<ol style="list-style-type: none">1. 調査書の学習成績概評A段階に属し、2027年(令和9年)3月31日までに「地理歴史科」で「世界史探究」を4単位以上履修した者及び履修見込みの者(注1)2. 英語4技能の資格・検定試験である、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&Wのいずれかにおいて、別表「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」で、B2以上を取得している者(注2)3. 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする思考力を重視した探究的な学習や、国際交流に関する活動に取組み、特筆すべき成果を修めた者4. 外国語の習得に意欲を持ち、外国語科目において優れた成績を残している者5. 出身学校長が責任を持って推薦できる者6. 出願した場合には、病気や事故などのやむを得ない事由を除き、受験を辞退しないことを確約できる者 *他大学への合格又は入学決定を理由とする受験辞退は、「やむを得ない事由」には該当しない。7. 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
国際日本学部	<ol style="list-style-type: none">1. 調査書の学習成績概評A段階に属する者2. 英語4技能の資格・検定試験である、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&Wのいずれかにおいて、別表「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」で、B2以上を取得している者3. 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする思考力を重視した探究的な学習や、国際交流に関する活動に取組み、コミュニケーション能力、問題解決力などの国際的な素養を身に付けた者4. 外国語の習得に意欲を持ち、外国語科目において優れた成績を残している者5. 出身学校長が責任を持って推薦できる者6. 出願した場合には、病気や事故などのやむを得ない事由を除き、受験を辞退しないことを確約できる者 *他大学への合格又は入学決定を理由とする受験辞退は、「やむを得ない事由」には該当しない。7. 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(注1) 国際社会学部の推薦要件1に関して、高等学校等において世界史探究が4単位以上履修選択可能なカリキュラムが組まれているにもかかわらず、履修希望者が少ない等の理由で授業が開講されず、推薦要件1に必要な単位数を履修できない場合には、高等学校等を通じて事前に相談すること。ただし、高等学校等のカリキュラムにおいて、そもそも世界史探究が4単位以上設定されていない場合を除く。

なお、「世界史探究」と、「『世界史探究』と科目の名称は異なるものの、『世界史探究』と同等あるいはそれ以上に発展的な世界史科目として開講する学校設定科目」を併せて4単位以上履修及び履修見込みの場合も、国際社会学部の推薦要件1を満たす。このような場合についても、高等学校等のカリキュラムが確認できる資料（教育課程表等）を添付のうえ高等学校等を通じて事前に相談すること。

(注2) 国際社会学部の推薦要件2に関して、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語のいずれかについて、CEFRでB2以上の言語能力を有し、それを証明する文書を提出できる者は、英語の要件はCEFRでB1以上とする。

(別表) 各資格・検定試験とCEFRとの対照表

CEFR	ケンブリッジ英語検定	実用英語技能検定	GTEC	IELTS	TEAP	TOEFL iBT		TOEIC L&R / TOEIC S&W
C2	230 200			9.0 8.5				
C1	199 180	3299 2600	1400 1350	8.0 7.0	400 375	120 95	6 5	1990 1845
B2	179 160	2599 2300	1349 1180	6.5 5.5	374 309	94 72	4.5 4	1840 1560
B1	159 140	2299 1950	1179 930	5.0 4.0	308 225	71 42	3.5 3	1555 1150

※英語4技能の資格・検定試験のスコアとして実用英語技能検定（英検）を提出する場合、CEFR B2以上を取得していることを証明する場合は準1級以上を、CEFR B1以上を取得していることを証明する場合は2級以上のスコアを提出する必要がある。

※英語4技能の資格・検定試験のスコアとしてTOEIC L&R/TOEIC S&Wを提出する場合、L&R及びS&Wの両方のスコアを提出すること。また、TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

2. その他

学校推薦型選抜において、同一の志願者が複数の学部を併願することはできない。また、本学の「帰国生等特別推薦選抜」、「私費外国人留学生選抜」及び「日本留学試験利用選抜」との併願はできない。

※国内の高等学校等（学校教育法第1条に定める学校）において国際バカロレア・ディプロマ・プログラムを履修する者については、学校推薦型選抜への出願を認めないものとする。

【5】選抜期日等

学部	出願期間	選抜期日	合格者発表	入学手続
言語文化	2026年(令和8年) 11月1日(日)～ 11月5日(木)	2026年(令和8年) 11月28日(土)	2026年(令和8年) 12月16日(水)	2027年(令和9年) 2月1日(月)まで
国際社会 国際日本		2026年(令和8年) 11月29日(日)		

(注1) 出願は、Web出願専用サイトでの登録を済ませたのち、必要書類を郵送すること(持参不可)。なお、郵送は全て**簡易書留・速達郵便**によるものとし、上記期間内に**必着**とする。ただし、期間後に本学に到着した場合でも、2026年(令和8年)11月3日(火)以前の国内発信局消印のある(簡易)書留郵便であれば受け付ける。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送すること。

(注2) 合格者発表は、上記期日に本学ホームページにて発表する。

(注3) 入学手続の詳細については、合格者に対して別途通知する。

【6】選抜方法

提出された出願書類、小論文及び面接により総合して評価する。

①出願書類

調査書、推薦書、大学入学志望理由書、活動報告書、英語4技能の資格・検定試験のスコア等

②小論文

学部	実施方法
言語文化	その場で与えられた課題について小論文を課す。
国際社会	あらかじめ指定された課題図書に基づく小論文を課す。
国際日本	その場で与えられた課題について小論文を課す。

③面接

学部	実施方法
3学部共通	志望理由、高等学校等までの学習歴、入学後の学修計画、特筆すべき課外活動・社会活動に関し、質疑応答を行う。

(試験場：東京外国語大学 東京都府中市朝日町3-11-1)

IV. 帰国生等特別推薦選抜

【1】趣旨

この「帰国生等特別推薦選抜」は、学校推薦型選抜の一種である。

「帰国生等特別推薦選抜」では、外国の教育制度に基づく教育機関（国内の国際バカロレア（DP）認定校を含む）において中等教育を受けた生徒を対象に、外国における教育事情の違い等に鑑み、英語の資格・検定試験のスコア等の出願書類、小論文、面接等により入学志願者の能力・適性等を多面的・総合的に評価し、合格者を決定する。

これは、社会のグローバル化に伴う多様な人の移動が作り出す近年の現実に対応し、豊かな国際感覚を持つ生徒の就学機会を広げるために実施するものであり、本学の特色・専門分野に興味を持ち、高等教育を受けるための基礎学力を確実に身につけた志願者を、出身学校長からの推薦を受け、選抜するものである。

なお、本学を含め、国公立大学・学部の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含む）へ出願できるのは、1つの大学・学部である。

【2】募集人員

1. 言語文化学部 言語文化学科

募集単位（専攻言語）	入学後の専攻地域	募集人員
英語	北西ヨーロッパ・北アメリカ	若 干 名
ドイツ語	中央ヨーロッパ	
ポーランド語		
チェコ語		
フランス語	西南ヨーロッパ	
イタリア語		
スペイン語	イベリア・ラテンアメリカ	
ポルトガル語		
ロシア語	ロシア	
ロシア語及びウズベク語	中央アジア	
モンゴル語		
中国語	東アジア	
朝鮮語		
インドネシア語	東南アジア	
マレーシア語		
フィリピン語		
タイ語		
ラオス語		
ベトナム語		
カンボジア語		
ビルマ語		
ウルドゥー語	南アジア	
ヒンディー語		
ベンガル語		
アラビア語	中東	
ペルシア語		
トルコ語		

（注1）合格者（入学手続者）の数は、言語文化学部前期日程募集人員の内数である。

2. 国際社会学部 国際社会学科

募集単位（専攻地域）	入学後の専攻言語	募集人員
北西ヨーロッパ／北アメリカ	英語	若干名
中央ヨーロッパ	ドイツ語	
	ポーランド語	
	チェコ語	
西南ヨーロッパ	フランス語	
	イタリア語	
イベリア／ラテンアメリカ	スペイン語	
	ポルトガル語	
ロシア	ロシア語	
中央アジア	ロシア語及びウズベク語	
	モンゴル語	
東アジア	中国語	
	朝鮮語	
東南アジア第1	インドネシア語	
	マレーシア語	
	フィリピン語	
東南アジア第2	タイ語	
	ラオス語	
	ベトナム語	
	カンボジア語	
	ビルマ語	
南アジア	ウルドゥー語	
	ヒンディー語	
	ベンガル語	
中東	アラビア語	
	ペルシア語	
	トルコ語	
アフリカ	英語	
オセアニア	英語	

(注1) 「入学後の専攻言語」が複数ある「募集単位（専攻地域）」を希望する志願者は、出願時に希望する「入学後の専攻言語」を1つ選択すること。

(注2) 合格者（入学手続者）の数は、国際社会学部前期日程募集人員の内数である。

(注3) 「募集単位（専攻地域）」が「北西ヨーロッパ／北アメリカ」及び「イベリア／ラテンアメリカ」の合格者は、入学手続時にいずれか1つの専攻地域を選択すること。詳細は、入学手続書類にて確認すること。

3. 国際日本学部 国際日本学科

募集単位（学科）	募集人員
国際日本学科	若干名

(注1) 合格者（入学手続者）の数は、国際日本学部前期日程募集人員の内数である。

【3】推薦人数

出身学校長が推薦する人数は、特に制限しない。

【4】出願資格等

下記のいずれかの基礎資格を有し、かつ、すべての要件を満たしている者。ただし、基礎資格の(1)(2)については、日本国籍を持つ者又は日本国の永住許可を得ている者に限る。(3)(4)については(注6)を参照のこと。(5)(6)については国籍を問わない。

1. 基礎資格

2026年(令和8年)4月1日から2027年(令和9年)3月31日までの間に、次のいずれかの基礎資格を満たす者。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を修め、そのうち外国において日本以外の国の正規の教育制度に基づく高等学校に対応する課程の最終学年を含めて2学年以上継続して学校教育を受け、上記期間中に修了した者及び修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) 学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)のうち、外国において日本以外の国の正規の教育制度に基づく中等教育に対応する課程で3学年以上継続して学校教育を受けた後、中途退学し、引き続き日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)に編入学を認められた者で上記期間中に卒業したもの及び卒業見込みのもの
- (3) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、(フランス)バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレアのいずれかを上記期間中に取得した者及び取得見込みの者
- (4) 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia(NCA CASI、NWAC、SACS CASI)、COBIS)の認定を受けた教育施設の12年の課程を上記期間中に修了した者及び修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を上記期間中に修了した者及び修了見込みの者
- (6) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(5)と同等以上の学力があると認められた者で、2027年(令和9年)3月31日までに18歳に達するもの

(注1) 初等中等教育の課程が13年制である場合には、2026年(令和8年)4月1日から2027年(令和9年)3月31日までの間にGrade 12又はGrade 13を修了した場合に要件を満たすが、受験の機会にはGrade 12修了時かGrade 13修了時のいずれか1回に限る。

(注2) (1)の「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」とは、

- ① 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を上記期間中に修了したものと及び修了見込みのもの
- ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを上記期間中に修了した者及び修了見込みの者

(注3) (1)(2)(4)に該当する者は、大学入学資格として少なくとも12年の教育課程を基本とする国において、飛び級等により通算12年に満たないで修了した者及び修了見込みの者を含む。

(注4) (1)に該当する者は、外国において少なくとも高等学校の第2学年の初めから最終学年の終わりまでに対応する課程(Grade 11～Grade 12)のすべての期間において在学し、当該課程を修了した者とする。

(注5) (2)に該当する者は、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)に編入学後、卒業までの期間が1年以内のものとする。

(注6) (3)(4)について

- ・日本国内に所在する学校等で資格を取得する者又は学校等を修了する者(いずれも見込みの者を含む)については、国籍を問わず基礎資格を満たす。
- ・外国に所在する学校等で資格を取得する者又は学校等を修了する者(いずれも見込みの者を含む)については、日本国籍又は日本国の永住権を持つ者に限る。日本国籍又は日本国の永住権を持たない者は、「私費外国人留学生選抜」又は「日本留学試験利用選抜」を受験することができる。

2. 要件

次に掲げるすべての要件に該当すること。

- (1) 英語4技能の資格・検定試験であるケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W(注1)のいずれかを受験し、出願時にそのスコアを提出できること(注2)
- (2) 学業・人物ともに優れ、志望する分野における学修に強い意欲を有する者
- (3) 出身学校長が責任を持って推薦できる者
- (4) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(注1) 英語4技能の資格・検定試験のスコアとしてTOEIC L&R/TOEIC S&Wを提出する場合、L&R及びS&Wの両方のスコアを提出すること。

(注2) 中学校・高等学校に相当する6学年(Grade 7～Grade 12)の教育課程のうち、5学年以上を「英語」で教育を受けた者については、英語4技能の資格・検定試験のスコアの提出は不要とする。

3. その他

帰国生等特別推薦選抜において、同一の志願者が複数の学部を併願することはできない。また、本学の「学校推薦型選抜」、「私費外国人留学生選抜」及び「日本留学試験利用選抜」との併願はできない。

【5】選抜期日等

学部	出願期間	第1次選考 合格者発表	第2次選考	合格者発表	入学手続
言語文化	2026年(令和8年) 11月1日(日)～ 11月5日(木)	2026年(令和8年) 11月20日(金)	2026年(令和8年) 11月28日(土)	2026年(令和8年) 12月16日(水)	2027年(令和9年) 2月1日(月)まで
国際社会			2026年(令和8年) 11月29日(日)		
国際日本					

(注1) 出願は、Web出願専用サイトでの登録を済ませたのち、必要書類を郵送すること(持参不可)。なお、郵送は全て簡易書留・速達郵便によるものとし、上記期間内に必着とする。ただし、期間後に本学に到着した場合でも、2026年(令和8年)11月3日(火)以前の国内発信局消印のある(簡易)書留郵便であれば受け付ける。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送すること。

(注2) 合格者発表は、上記期日に本学ホームページにて発表する。

(注3) 入学手続の詳細については、合格者に対して別途通知する。

【6】選抜方法

第1次選考(書類選考)、第2次選考(小論文及び面接)により総合して評価する。

1. 第1次選考(書類選考)

成績証明書(調査書)、推薦書、大学入学志望理由書、活動報告書、国家試験等の統一試験成績評価証明書(該当者のみ)、英語4技能の資格・検定試験のスコア等の出願書類により行う。

2. 第2次選考(小論文及び面接)

第1次選考合格者に対し、小論文及び面接を行う。

(試験場：東京外国語大学 東京都府中市朝日町3-11-1)

①小論文

学部	実施方法
言語文化	その場で与えられた課題について小論文を課す。
国際社会	あらかじめ指定された課題図書に基づく小論文を課す。
国際日本	その場で与えられた課題について小論文を課す。

②面接

学部	実施方法
3学部共通	志望理由、高等学校等までの学習歴、入学後の学修計画、特筆すべき課外活動・社会活動に関し、質疑応答を行う。

V. 言語文化学部・国際社会学部 私費外国人留学生選抜

【1】趣旨

言語文化学部と国際社会学部の「私費外国人留学生選抜」では、開かれた大学のあり方を求める立場から、国際的経験を積んだ外国人を対象として、日本学生支援機構が実施する日本留学試験（日本語及び総合科目）、英語の資格・検定試験のスコア等の出願書類、及び小論文・面接等により志願者の能力・適性等を多面的・総合的に評価し、合格者を決定する。

〔注意事項〕

入学後の取り扱いは、一般選抜等の入学者選抜により入学した者と同様である。

日本語や日本に関することを学びたい者は、国際日本学部の一般選抜又は日本留学試験利用選抜に出願すること。

【2】募集人員

1. 言語文化学部 言語文化学科

募集単位（専攻言語）	入学後の専攻地域	募集人員
英語	北西ヨーロッパ・北アメリカ	若干名
ドイツ語	中央ヨーロッパ	
ポーランド語		
チェコ語		
フランス語	西南ヨーロッパ	
イタリア語		
スペイン語	イベリア・ラテンアメリカ	
ポルトガル語		
ロシア語	ロシア	
ロシア語及びウズベク語	中央アジア	
モンゴル語		
中国語	東アジア	
朝鮮語		
インドネシア語	東南アジア	
マレーシア語		
フィリピン語		
タイ語		
ラオス語		
ベトナム語		
カンボジア語		
ビルマ語		
ウルドゥー語	南アジア	
ヒンディー語		
ベンガル語		
アラビア語	中東	
ペルシア語		
トルコ語		

（注1）合格者（入学手続者）の数は、言語文化学部前期日程募集人員の内数である。

2. 国際社会学部 国際社会学科

募集単位（専攻地域）	入学後の専攻言語	募集人員
北西ヨーロッパ／北アメリカ	英語	若 干 名
中央ヨーロッパ	ドイツ語	
	ポーランド語	
	チェコ語	
西南ヨーロッパ	フランス語	
	イタリア語	
イベリア／ラテンアメリカ	スペイン語	
	ポルトガル語	
ロシア	ロシア語	
中央アジア	ロシア語及びウズベク語	
	モンゴル語	
東アジア	中国語	
	朝鮮語	
東南アジア第1	インドネシア語	
	マレーシア語	
	フィリピン語	
東南アジア第2	タイ語	
	ラオス語	
	ベトナム語	
	カンボジア語	
	ビルマ語	
南アジア	ウルドゥー語	
	ヒンディー語	
	ベンガル語	
中東	アラビア語	
	ペルシア語	
	トルコ語	
アフリカ	英語	
オセアニア	英語	

(注1) 「入学後の専攻言語」が複数ある「募集単位（専攻地域）」を希望する志願者は、出願時に希望する「入学後の専攻言語」を1つ選択すること。

(注2) 合格者（入学手続者）の数は、国際社会学部前期日程募集人員の内数である。

(注3) 「募集単位（専攻地域）」が「北西ヨーロッパ／北アメリカ」及び「イベリア／ラテンアメリカ」の合格者は、入学手続時にいずれか1つの専攻地域を選択すること。詳細は、入学手続書類にて確認すること。

【3】出願資格等

日本国籍を有しない者のうち日本国の永住許可を取得していないもので、下記のいずれかの基礎資格を有し、かつ、すべての要件を満たしているもの。

1. 基礎資格

次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2027年（令和9年）3月31日までに修了見込みの者（注1）、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（注2）
- (2) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、（フランス）バカロレア、GCEA レベル、国際Aレベル、欧州バカロレアのいずれかを、日本国外に所在する外国の中等教育機関において取得した者及び2027年（令和9年）3月31日までに取得見込みの者
- (3) 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia(NCA CASI、NWAC、SACS CASI)、COBIS）の認定を受けた教育施設（日本国外に所在するものに限る）の12年の課程を修了した者及び2027年（令和9年）3月31日までに修了見込みの者（注1）
- (4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上の学力があると認められた者で、2027年（令和9年）3月31日までに18歳に達するもの

（注1）大学入学資格として少なくとも12年の教育課程を基本とする国において、飛び級等により通算12年に満たないで修了した者及び修了見込みの者を含む。

（注2）「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」とは、

- ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者で、18歳に達したもの及び2027年（令和9年）3月31日までに18歳に達するもの
- ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者を含む）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したもの及び2027年（令和9年）3月31日までに修了見込みのもの
- ③ 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び2027年（令和9年）3月31日までに修了見込みの者

2. 要件

次に掲げるすべての要件に該当すること。

- (1) 日本学生支援機構が実施する2025年（令和7年）6月、11月又は2026年（令和8年）6月実施の日本留学試験（日本語及び総合科目）を受験していること。なお、日本留学試験（総合科目）の出題言語は自由選択とする。
上記のうち、複数回受験した場合は、いずれか1つの回を各自で選択し、その受験票のコピーを提出すること。
- (2) 英語4技能の資格・検定試験であるケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W（※）のいずれかを受験し、出願時にそのスコアを提出できること。
※英語4技能の資格・検定試験のスコアとしてTOEIC L&R/TOEIC S&Wを提出する場合、L&R及びS&Wの両方のスコアを提出すること。
- (3) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において、大学入学に支障のない在留資格を有すること又は有する見込みであること。

3. その他

私費外国人留学生選抜において、同一の志願者が複数の学部を併願することはできない。また、本学の「学校推薦型選抜」、「帰国生等特別推薦選抜」及び「日本留学試験利用選抜」との併願はできない。

【4】選抜期日等

学部	出願期間	第1次選考 合格者発表	第2次選考	合格者発表	入学手続
言語文化	2026年(令和8年) 10月8日(木)～ 10月16日(金)	2026年(令和8年) 11月20日(金)	2026年(令和8年) 11月28日(土)	2026年(令和8年) 12月16日(水)	2027年(令和9年) 2月1日(月)まで
国際社会			2026年(令和8年) 11月29日(日)		

(注1) 出願は、Web出願専用サイトでの登録を済ませたのち、必要書類を郵送すること(持参不可)。なお、郵送は全て**簡易書留・速達郵便**によるものとし、上記期間内に**必着**とする。ただし、期間後に本学に到着した場合でも、2026年(令和8年)10月14日(水)以前の国内発信局消印のある(簡易)書留郵便であれば受け付ける。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送すること。

(注2) 合格者発表は、上記期日に本学ホームページにて発表する。

(注3) 入学手続の詳細については、合格者に対して別途通知する。

【5】選抜方法

第1次選考(書類選考)、第2次選考(小論文及び面接)により総合して評価する。

1. 第1次選考(書類選考)

成績証明書、活動報告書、国家試験等の統一試験成績評価証明書(該当者のみ)、日本留学試験の成績、大学入学志望理由書、英語4技能の資格・検定試験のスコア等の出願書類により行う。

2. 第2次選考(小論文及び面接)

第1次選考合格者に対し、小論文及び面接を行う。

(試験場：東京外国語大学 東京都府中市朝日町3-11-1)

① 小論文

学部	実施方法
言語文化	その場で与えられた課題について小論文を課す。
国際社会	あらかじめ指定された課題図書に基づく小論文を課す。

② 面接

学部	実施方法
2学部共通	志望理由、高等学校等までの学習歴、入学後の学修計画、特筆すべき課外活動・社会活動に関し、質疑応答を行う。

VI. 国際日本学部 日本留学試験利用選抜

【1】趣旨

国際日本学部「日本留学試験利用選抜」では、外国の学校等で教育を受け、すでに高度な日本語運用能力と日本についての基礎知識を備えた外国人を対象として、日本学生支援機構が実施する日本留学試験（日本語及び総合科目）、英語の資格・検定試験のスコア等の出願書類及び面接等により志願者の能力・適性等を多面的・総合的に評価し、合格者を決定する。

〔注意事項〕

この入学者選抜は、国際日本学部のみでの実施となる。言語文化学部又は国際社会学部を希望する者は、一般選抜又は私費外国人留学生選抜に出願すること。

【2】募集人員

募集単位（学科）	募集人員
国際日本学科	20人

（注1）合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合、その欠員分は、国際日本学部の前期日程の募集人員に加える。

【3】出願資格等

日本国籍を有しない者のうち日本国の永住許可を取得していないもので、下記のいずれかの基礎資格を有し、かつ、すべての要件を満たしているもの。

1. 基礎資格

次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2027年（令和9年）3月31日までに修了見込みの者（注1）、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（注2）
- (2) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、（フランス）バカロレア、GCEA レベル、国際A レベル、欧州バカロレアのいずれかを、日本国外に所在する外国の中等教育機関において取得した者及び2027年（令和9年）3月31日までに取得見込みの者
- (3) 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia（NCA CASI、NWAC、SACS CASI）、COBIS）の認定を受けた教育施設（日本国外に所在するものに限る）の12年の課程を修了した者及び2027年（令和9年）3月31日までに修了見込みの者（注1）
- (4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上の学力があると認められた者で、2027年（令和9年）3月31日までに18歳に達するもの

（注1）大学入学資格として少なくとも12年の教育課程を基本とする国において、飛び級等により通算12年に満たないで修了した者及び修了見込みの者を含む。

（注2）「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」とは、

- ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者で、18歳に達したもの及び2027年（令和9年）3月31日までに18歳に達するもの
- ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者を含む）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したもの及び2027年（令和9年）3月31日までに修了見込みのもの
- ③ 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び2027年（令和9年）3月31日までに修了見込みの者

2. 要件

次に掲げるすべての要件に該当すること。

- (1) 日本学生支援機構が実施する 2025 年（令和 7 年）6 月、11 月又は 2026 年（令和 8 年）6 月実施の日本留学試験（日本語及び総合科目）を受験していること。なお、日本留学試験（総合科目）の出題言語は自由選択とする。
上記のうち、複数回受験した場合は、いずれか 1 つの回を各自で選択し、その受験票のコピーを提出すること。
- (2) 英語 4 技能の資格・検定試験であるケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W（※）のいずれかを受験し、出願時にそのスコアを提出できること。
※英語 4 技能の資格・検定試験のスコアとして TOEIC L&R/TOEIC S&W を提出する場合、L&R 及び S&W の両方のスコアを提出すること。
- (3) 出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）において、大学入学に支障のない在留資格を有すること又は有する見込みであること。

3. その他

本学の「学校推薦型選抜」、「帰国生等特別推薦選抜」及び「私費外国人留学生選抜」との併願はできない。

【4】選抜期日等

学部	出願期間	第 1 次選考 合格者発表	第 2 次選考	合格者発表	入学手続
国際日本	2026 年(令和 8 年) 10 月 8 日(木)～ 10 月 16 日(金)	2026 年(令和 8 年) 11 月 20 日(金)	2026 年(令和 8 年) 11 月 28 日(土)・ 11 月 29 日(日)	2026 年(令和 8 年) 12 月 16 日(水)	2027 年(令和 9 年) 2 月 1 日(月)まで

(注 1) 出願は、Web 出願専用サイトでの登録を済ませたのち、必要書類を郵送すること（持参不可）。なお、郵送は全て簡易書留・速達郵便によるものとし、上記期間内に必着とする。ただし、期間後に本学に到着した場合でも、2026 年（令和 8 年）10 月 14 日（水）以前の国内発信局消印のある（簡易）書留郵便であれば受け付ける。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送すること。

(注 2) 合格者発表は、上記期日に本学ホームページにて発表する。

(注 3) 入学手続の詳細については、合格者に対して別途通知する。

(注 4) 第 2 次選考の正式な実施日は、国際日本学部特別選抜の出願者の多寡によって検討し、第 1 次選考合格者に対して個別に通知する。

【5】選抜方法

第 1 次選考（書類選考）、第 2 次選考（面接）により総合して評価する。

1. 第 1 次選考（書類選考）

成績証明書、国家試験等の統一試験成績評価証明書（該当者のみ）、日本留学試験の成績、大学入学志望理由書、英語 4 技能の資格・検定試験のスコア等の出願書類により行う。

2. 第 2 次選考（面接）

第 1 次選考合格者に対し、面接をオンラインで実施する。

○面接：志望理由、高等学校等までの学習歴、入学後の学修計画、本学での学修に必要な基礎的学力に関し、質疑応答を行う。

VII. 国際日本学部 海外高校推薦選抜 (School of Japan Studies Entrance Examination : English-Speaker track)

【1】趣旨

国際日本学部「海外高校推薦選抜」では、外国の学校等で教育を受けた生徒であって、日本語は未修得ながらも、学校長からの推薦を受け、本学での学修に意欲を持つ者を対象に、出願書類及び面接等を通じて学びへの意欲、基礎学力、思考力・判断力・表現力等を多面的・総合的に評価し、合格者を決定する。

【2】募集人員

募集単位 (学科)	募集人員
国際日本学科	10 人

(注1) 合格者 (入学手続者) が募集人員に満たなかった場合、その欠員分は、国際日本学部の前期日程の募集人員に加える。

【3】出願資格等

日本国籍以外の国籍を保持している者で、下記のいずれかの基礎資格を有し、かつ、すべての要件を満たしているもの。

1. 基礎資格

次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び 2027 年 (令和 9 年) 3 月 31 日までに修了見込みの者 (注 1)、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (注 2)
- (2) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、(フランス) バカロレア、GCEA レベル、国際 A レベル、欧州バカロレアのいずれかを、日本国外に所在する外国の中等教育機関において取得した者及び 2027 年 (令和 9 年) 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (3) 国際的な評価団体 (WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia (NCA CASI、NWAC、SACS CASI)、COBIS) の認定を受けた教育施設の 12 年の課程を修了した者及び 2027 年 (令和 9 年) 3 月 31 日までに修了見込みの者 (注 1)
- (4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記 (1)～(3) と同等以上の学力があると認められた者で、2027 年 (令和 9 年) 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

(注 1) 大学入学資格として少なくとも 12 年の教育課程を基本とする国において、飛び級等により通算 12 年に満たないで修了した者及び修了見込みの者を含む。

(注 2) 「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」とは、

- ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定 (国の検定に準ずるものを含む) に合格した者で、18 歳に達したもの及び 2027 年 (令和 9 年) 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者 (これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定 (国の検定に準ずるものを含む) に合格した者を含む) で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したもの及び 2027 年 (令和 9 年) 3 月 31 日までに修了見込みのもの
- ③ 外国において、高等学校に対応する学校の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における 11 年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る) で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び 2027 年 (令和 9 年) 3 月 31 日までに修了見込みの者

2. 要件

次に掲げるすべての要件に該当すること。

- (1) 第一言語又は高等学校での教育使用言語のすべてが英語でない場合、英語4技能の資格・検定試験である、ケンブリッジ英語検定、IELTS、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W（注1）のいずれかにおいて、別表「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」で、B2以上を取得していること。
- (2) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において、大学入学に支障のない在留資格を有すること又は有する見込みであること。
- (3) 学業・人物ともに優れ、本学での学修に強い意欲を有する者
- (4) 出身学校長が責任を持って推薦できる者（注2）

（別表）各資格・検定試験とCEFRとの対照表

CEFR	ケンブリッジ英語 検定	IELTS	TOEFL iBT		TOEIC L&R /TOEIC S&W
C2	230	9.0			
	200	8.5			
C1	199	8.0	120	6	1990
	180	7.0	95	5	1845
B2	179	6.5	94	4.5	1840
	160	5.5	72	4	1560
B1	159	5.0	71	3.5	1555
	140	4.0	42	3	1150

※TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

（注1）英語4技能の資格・検定試験のスコアとしてTOEIC L&R/TOEIC S&Wを提出する場合、L&R及びS&Wの両方のスコアを提出すること。

（注2）課程修了後、相当期間が経過している等の理由により推薦書を取得できない場合は、出願はできない。

【4】選抜期日等

学部	出願期間	第1次選考 合格者発表	第2次選考	合格者発表	入学手続
国際日本	2026年(令和8年) 8月31日(月)～ 9月4日(金)	2026年(令和8年) 10月2日(金)	2026年(令和8年) 10月中旬～下旬	2026年(令和8年) 11月20日(金)	2027年(令和9年) 3月下旬

【5】選抜方法

書類選考及び面接（英語）により総合して評価する。

出願時の出願書類（出身高校校長による推薦書含む）提出方法はウェブアップロードとし、合格後、入学手続き時あるいは来日時に書類原本を提出させるものとする。

なお、面接はオンラインで行う。（渡日前選抜）

問 い 合 わ せ 先

東京外国語大学学務部入試課入学試験係

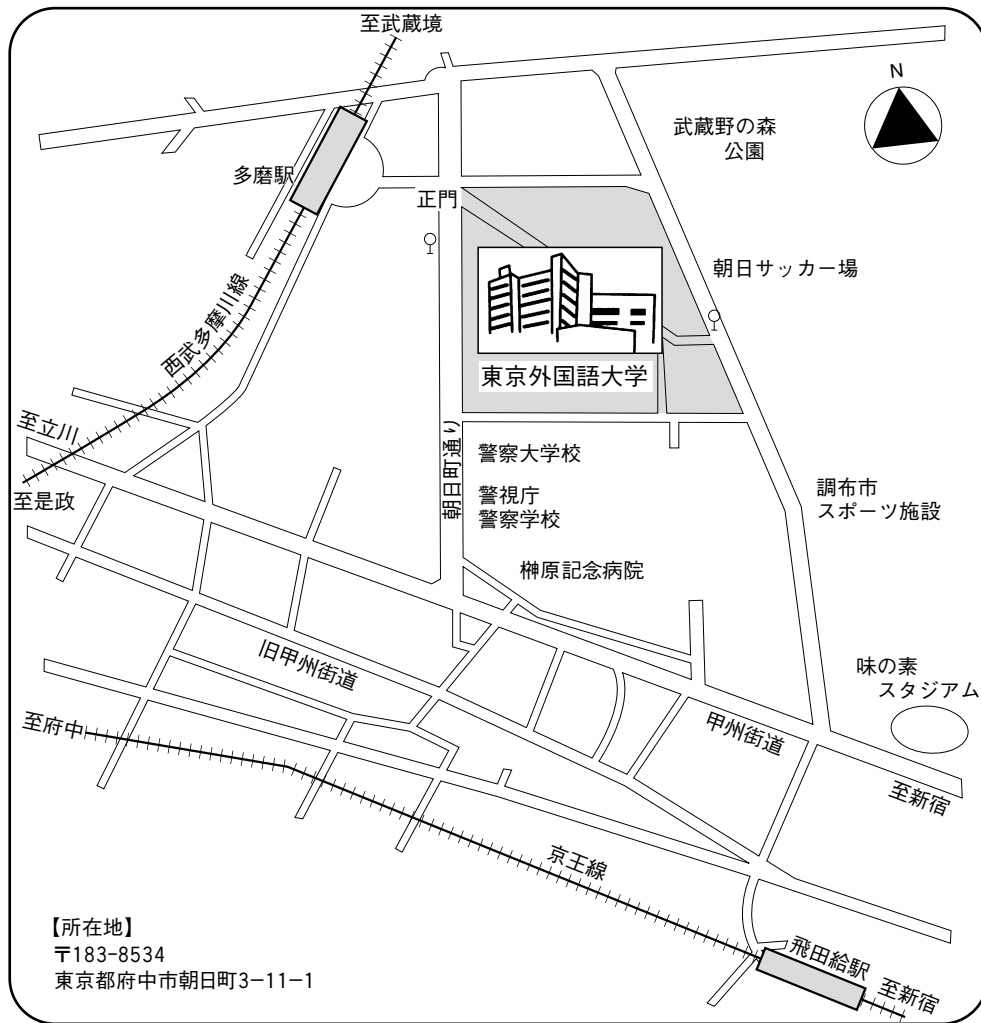
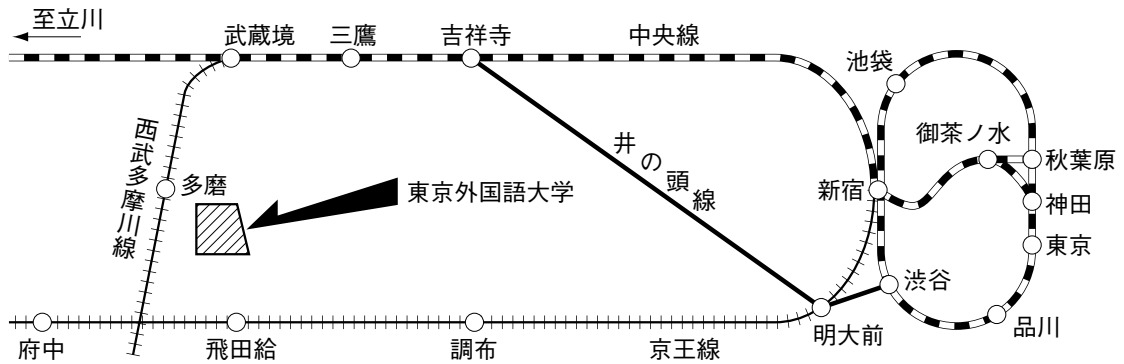
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 TEL 042-330-5179

受付時間（窓口・電話とも）

月曜日から金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00

※電話による問い合わせについては、原則として出願者本人が行うこと。

案内図



●交通機関

- ・西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分
- ・京王線「飛田給」駅北口より多磨駅行京王バス「東京外国語大学前」下車徒歩0分

●問い合わせ先

- ・東京外国語大学学務部入試課入学試験係 TEL 042-330-5179

2026年（令和8年）7月

東京外国語大学